

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		ワークセンター夢の樹		第三者評価受審年度	令和元年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度10月末時点)	実施状況 (令和元年度11月末時点)	実施状況 (令和元年度末時点)	
事業所として望んでいる支援を常に確認するために、押さえておくべき最低限の支援方法や方針を文書化されることを期待する。	事務業務は分掌により明確にしているが、日常業務の詳細、また、日常の利用者支援については口答の伝達に留まっている。	日常業務及び利用者支援の方法についての詳細や方針を職員全体で共有できるよう1月の職員会議にて日常業務確認表(案)を検討し、1月中に作成する。	施設長と現場リーダーとの間で日常業務について必要な事項をリストアップしている。	リストアップした必要な業務事項を基に、1日の業務分担表を作成し、全職員に周知を行った。	
職員が果たすべき仕事の内容やどのように働けばよいのかといった点を具体的に示していくことが期待する。	事務業務は分掌により明確にしているが、日常業務の詳細については口答の伝達に留まっている。	日常業務及び利用者支援の方法についての詳細や方針を職員全体で共有できるよう1月の職員会議にて日常業務確認表(案)を検討し、1月中に作成する。	施設長と現場リーダーとの間で日常業務について必要な事項をリストアップしている。	リストアップした必要な業務事項を基に、1日の業務分担表を作成し、全職員に周知を行った。	
法律の制度改正や利用者の状況の変化などに対応すべく、優先順位を勘案して様々なリスクを打破する取組が期待する。	災害対策や障害者雇用また制度改正の動向及びその対応等については法人全体で把握し、長期的に検討をしている。 その他の高齢化等の利用者の状況の変化などについては、個別の支援方法の検討や事業所としての取組み(健康相談など)で対応している。	これまでの取り組みの更なる充実を図る。	事業所としては、障害者雇用の促進とそれに伴う利用者確保、また、高齢化対策としての健康相談に重点をおいて取り組んでいる。	今年度、障害者雇用に結びついた方が6名おり、新たに6名の利用者が利用を開始した。 また、週1日の健康相談を実施し、利用者の健康状態の把握に努めた。	

※この様式は、「小平市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。